

研究結果報告書

アジア4ヶ国の近代化の時間と手順についての研究：—中日韓タイを中心に—

所属： 北京日本学研究中心
役職： 教授
氏名： 周 維宏

本研究は日本社会学者富永健一先生の日本近代化の順序逆転論と韓国社会学者張慶燮先生のアジア社会の近代化の段階圧縮論に基づいてアジア四カ国の歴史データを収集して検証したものである。本研究の主な目標は三つである。ひとつはアジア社会近代化に関する検証指標の設定である。もうひとつはアジア代表的な四つの国の近代化検証指標の歴史データの収集である。最後のひとつはこれらの指標とデータを用いて比較検証をすることである。

一年半の努力を通じて、以上の目標はほぼ達成されたと思われる。

研究結果1：検証指標設定について

中日両国と英国の比較研究を通して本研究は次のような近代化指標を設定した。

近代化の順序と段階についての核心指標

サブシステム	核 心 概念	指 標	初 始 値	段 階 値	完 成 値
文化	合 理 化	高 等 教 育 普 及 率	近 代 大 学 出 現	大 学 入 学 率 1 5 %	大 学 入 学 率 5 0 %
政治	民 主 化	議 会 政 治 成 熟	立 憲 制 度 出 現	普 遍 選 挙 実 現	普 遍 選 挙 実 現
経済	産 業 化	産 業 構 造 高 度 化	産 業 革 命 開 始	第 三 産 業 5 0 % 以 上	第 三 産 業 6 0 % 以 上
社会	平 等 化	家 族 近 代 化	第 一 次 人 口 減 少	TFR = 2	第 二 次 人 口 減 少

特に政治近代化の計算について次のような工夫をした。

議会政治完熟指標

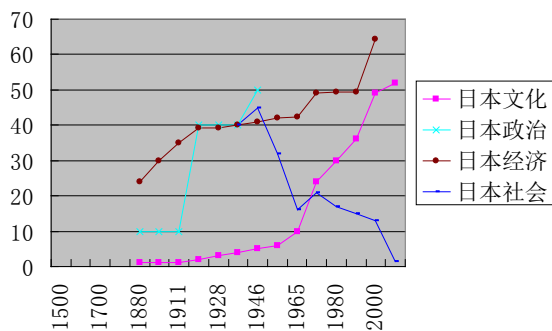
項目	君主立憲制	議会内閣制 (大統領)	議会統一直 接選挙制	議会無財産 制限選挙制	議会無性別 制限選挙制
----	-------	----------------	---------------	----------------	----------------

		制)			
採点数	10	10	10	10	10

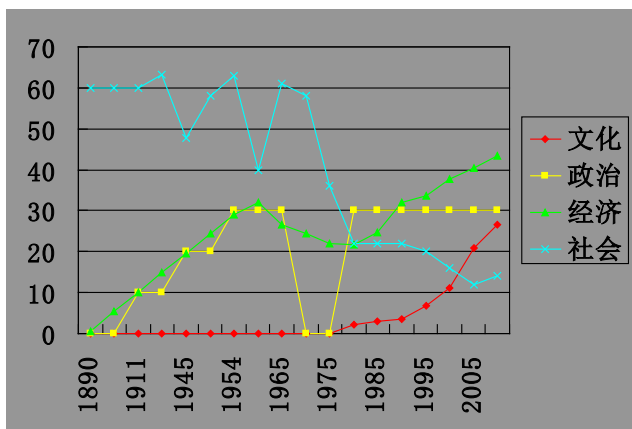
研究結果2：資料収集について

以上の指標設定に基づき、本研究は各種の手段を生かして日中韓タイ四カ国の近代化歴史データを収集して四カ国の近代化指標図を描くことができた。

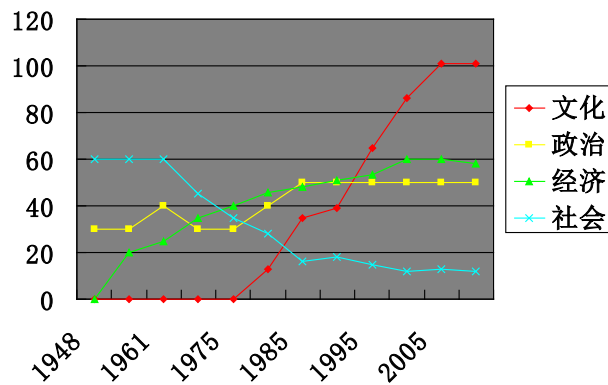
日本現代化時序



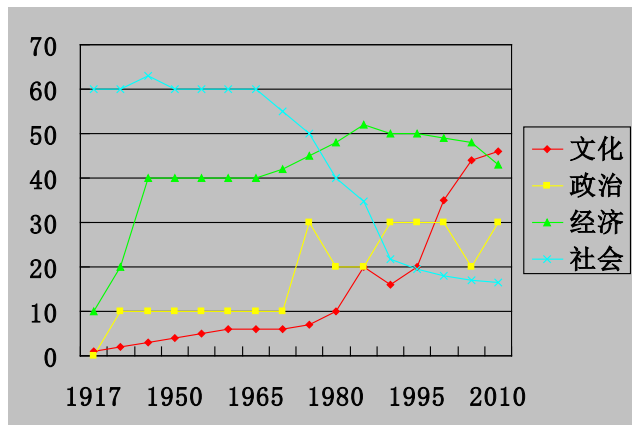
中国現代化時序



韩国现代化时序



泰国现代化时序



研究結果三：比較検証について

本研究はイギリスをモデルとしてアジアの国々とイギリス、アジア諸国間の比較研究を行った。主な結論から言えば次のことが言えるのではないかと考える。

1. 近代化の順序のことについて：

確かにイギリスの近代化は、文化、政治、経済、社会の順に進んできた。しかし、指標から近代化の完成順序を考えると、政治、社会、経済、文化という逆転現象も見受けられる。

日本の場合は、富永先生の論点と異なり、出発点では文化、政治、経済がほぼ同時で、社会がやや遅れた。完成点では意外にも政治、社会の順で経済と文化がほぼ同時

後に遅れた。

アジアの他の国は経済と政治がほぼ同時に出発し、社会と文化が遅れていた。

2. 近代化の時間圧縮について：

イギリスと比べて日本は文化と政治がそれぞれ 150 年間圧縮された。経済が 90 年、社会が 50 年間圧縮されている。文化と政治の近代化の圧縮性が意外に大きかった。

他のアジアの国も、文化と政治で圧縮が大きかった。日本はほぼ第一段階だけが圧縮され、第二段階では圧縮が見られなかったが、反対にアジアの他の国は第二段階の圧縮が非常に顕著であった。これは日本がアジアの中では先に近代化が進んだことを証明しているのである。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

文化近代化の指標を考える 周維宏 文化と近代化シンポジウム 2013, 12, 7 中国社会科学院日本研究所

文化近代化の計量研究 周維宏 東亜比較文化研究高端会議 2013, 12, 27 北京師範大学

アジア四カ国近代化次序分析 周維宏 第六回東亜文化交渉学会年会 2014, 5, 7-9 上海復旦大学

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

日本社会の近代化の圧縮発展及び啓発について 周維宏 北京日本学研究中心紀要『日本学研究』26 2014, 10

アジア四カ国近代化次序分析 周維宏 『世界歴史』2015, 3号

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

アジア国の近代化の比較研究 周維宏ほか 世界知識出版社 2016, 3